

# 副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	企画調整部 (情報政策課)	
2 協議事項 (案件名)	クラウドへの移行（情報資産の所有から利用への転換）について	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<p>&lt;背景&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「デジタル・ガバメント実行計画（平成30年1月16日閣僚会議決定）」において、政府情報システムは、クラウドサービスの利用を第一候補として取り組んでいる。</li> <li>・「浜松市情報化基本方針（平成31年2月策定）」において、クラウドの利活用を第一候補とする「クラウドファースト」の方針で取り組むこととした。</li> <li>・「デジタルファースト宣言（令和元年10月31日）」を公表し、クラウド利用の推進を取り組みの1つに位置付けた。</li> </ul> <p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市が導入している情報システムのほとんどが、オンプレミス型で運用 ※オンプレミス型...サーバー等の情報機器を所有し、自庁内に設置すること。</li> <li>・災害により大規模な被害が発生した際には、情報機器の調達や遠隔地保管しているバックアップデータからのデータ復旧等、システム全面復旧には相当の期間を要する。</li> </ul>	
4 検討経過・課題	<p>&lt;検討経過&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通基盤システムが令和元年度末に機器更新時期を迎えるため、クラウド移行を検討。</li> <li>・移行後10年間の継続利用で現行（5年満了）と比較し、約3,600万円の削減が可能</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全てのシステムをクラウド化することで、効果の最大化（共同利用による資源の有効活用）を図る必要がある。</li> </ul>	
5-1 方向性の提案（目指すべき姿）	住民情報システムなど基幹系システムを令和2年度から順次クラウドへ移行	
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項（妥当性、必要性、有効性など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民情報システムなど基幹系システムのすべてをクラウドに移行する。</li> <li>・移行期間は、令和2年度から令和6年度までを目途とし、各システムの機器更新時期に合わせ順次クラウドへ移行する。</li> </ul>	
6 結果	<p>■提案どおり進める</p> <p><input type="checkbox"/>提案内容を一部見直して進める</p> <p><input type="checkbox"/>再度、調査研究等を行い検討</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>	<p>具体的内容</p>
7 その他		